

武蔵村山市教育委員会 殿

学 校 名 武蔵村山市立第八小学校  
校長氏名 牧 一 彦  
(公印省略)

### 令和5年度教育課程について (届)

このことについて、武蔵村山市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

#### 記

#### 1 教育目標

##### (1) 学校の教育目標

人権尊重の基盤に立ち、創意に満ちた教育活動の推進に総力を挙げ、人間性豊かで思いやりがあり、21世紀を逞しく生き抜く国際感覚豊かな子供を育てる。

- ◎考える子
- 思いやりのある子
- やりとげる子
- 礼を重んずる子

また、それぞれの教育目標に対する児童のめあてを、「きたえよう頭を」「みがこう心を」「つよくしよう心と体を」「あらわそう思いを」として設定する。行動目標として「わけをそえて話すことができる子」の育成を設定し、指導の基軸とする。

##### 《第五中学校区教育目標》

確かな学力と豊かな心を育み、自信と誇りをもって21世紀を逞しく生き抜く子供の育成

##### (2) 目指す特色ある学校像

目指す特色ある学校像として、本校の目指す児童像、目指す学校像、目指す教師像を掲げ、その実現に向けて推進する。

- ① 目指す児童像：自分大好き 友達大好き 学校大好き 八小の子

第1表の2（小）

② 目指す学校像：人間力を高め、夢と希望を育み、笑顔あふれる学校

③ 目指す教師像：苦楽を共にし、子供のために力を尽くす チーム八小

(3) 今年度の基本方針

ア 教育基本法及び学校教育法その他の法令並びに学習指導要領を遵守し、児童一人一人がよりよい社会の形成者となりうる資質や能力の基礎となる学力、人格及び体力の調和のとれた育成を目指す。

イ 武蔵村山市教育委員会の教育目標及び、武蔵村山市教育委員会の基本方針に基づき、教育活動全体を通して児童の健全育成を推進する。

ウ 校長の学校経営方針の詳細を、校長室通信（やまなみ）をもとに定期的に周知し、チームとしてその具現化に努める。

エ 今年度の自己評価、保護者・地域の学校評価、児童の自己評価を基にして、強みを生かし、弱みを改善するよう努める。

オ 「生きる力」の育成を図る。

(ア) 全教育活動を通し、多様性の尊重と人権課題に関わる偏見や差別の解消を図る指導の徹底をする。

(イ) 文部科学省研究開発学校として創設した「徳育科」の実践を通して、児童の心の教育を充実させ、実践力の向上を図る。

(ウ) 誰一人取り残さない持続可能な社会づくりに、貢献できる人材を育成できる指導の工夫・改善を推進する。

(エ) 校内研究では算数科を中心に据え、教員一人一人の授業力向上を図り、全国学力学習状況調査における平均正答率を引き上げる。

(オ) 行動目標「わけをそえて話す」と問題解決学習を中心に据えた「八小授業スタンダード」に基づく授業改善を図り、思考力・判断力・表現力等を育む。

(カ) GIGAスクール構想における一人一台のタブレット端末等の有効な活用を図るとともに、問題解決型の学習指導を推進し、主体的に学ぶ児童を育成する。

(キ) 集団での遊びや運動の体験を通して、運動の楽しさを実感できる児童の育成を推進し、一人一人の体力の向上及び健康保持・増進に努める。

(ク) 特別支援教育コーディネーター及び校内委員会を中心とした組織全体による支援体制を構築し、個別に作成する「生活支援シート」及び「個別指導計画」を基に個に応じた支援の充実によって、特別支援教育を推進する。

(ケ) 五中校区及び一中校区の小中学校との連携を深め、9年間を見通した小中一貫教育の推進を図る。

(コ) 新型コロナウイルスの感染状況に合わせて感染防止対策を行い校内環境を整備する。

カ 地域・家庭との連携を深め、児童の学力向上、健全育成、安全対策の推進を図る。

キ チーム学校3事業（学校司書・ALT、英語活動支援員・スクールカウンセラー）を推進し、読書、英語学習、児童・保護者の心の支援を充実させる。

## 2 指導の重点

### (1) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動

#### ア 各教科

- 授業規律「教室の中で話しているのは一人」の更なる徹底を図る。
- 全教員参加の校内研究の研究授業を年6回（各学年1回）行う。
- 各教員の専門性を生かした「一人一研究」及び校内OJTを実施し、より高次の指導技術を獲得することで、学校の教育力向上を図る。
- 徳育科を中核として、全教育活動で人権感覚や思いやりの心を育てる。
- 思考力・判断力・表現力の向上と、知識・技能の確実な定着を図る。
  - ① 思考力・判断力・表現力の向上
    - ・ 「八小授業スタンダード」（課題解決型授業）の実施率の向上
    - ・ 算数指導…習熟度別指導（2学級3展開、3学級4展開）を基本に、第2学年以上での実施
    - ・ 発展的な課題にチャレンジさせる「八小錬成塾」の継続
  - ② 知識・技能の確実な定着
    - ・ 習熟タイム（週3回）の6年間を見通した計画的実施
    - ・ 地域未来塾を活用した「八小なるほど塾」の継続
    - ・ 「繰り上がり・繰り下がり」（第1学年）
    - ・ 「詩の暗唱」「かけ算九九」（第2学年）
    - ・ 「あつまれ！夏のもりもり教室」（第1学年以上）
    - ・ 「八小なるほど塾」（第3学年以上 該当児童）
- 1人1台端末等を効果的に活用し、個別最適な学びの実現を図る。
- 学校運営協議会による指導補助ボランティア・保護者教育ボランティアを教育諸活動に活用する。
  - ・ 「繰り上がり・繰り下がり」（第1学年）
  - ・ 読み聞かせ（全学年）
  - ・ 「八小なるほど塾」（第3学年以上 該当児童）
- 五中・一中校区の小中学校との連携をし「9年間を見通した小中一貫教育の推進」を図る。
  - ・ 五中校区合同研究主題を定め目指す生徒像を育成するための手立てについて追究する。
  - ・ 小中各校同士の交流を更に推進し、異校種の教員による特別授業を試行する。

#### イ 特別の教科 道徳

- 全教育活動を徳育科の実践の場と捉え、学校内外での「挨拶・礼儀正しさの励行」を推進する。
- 徳育科の授業を通して、日本の伝統文化の理解や礼儀・作法等の習得を図る。

## 第2表の2（小）

学校名 武蔵村山市立第八小学校

- 徳育教育推進教師を中心に年間指導計画・評価計画に沿った徳育科の適切な実施を図るとともに、徳育科授業地区公開講座の計画・運営を行う。

### ウ 総合的な学習の時間

- 「まちづくり学習」を総合的な学習の時間の年間指導計画に位置付け、自ら地域と関わり地域について知り、よりよい地域づくりに参画しようとする態度を育むとともに、それを実現させる行動力の育成を図る。

### エ 特別活動

- きょうだい学級遊びの時間や挨拶運動等の全校的な活動や、学年・学級の活動を通して、児童間の交流を積極的に推進し、好ましい人間関係を育て、互いを尊重する気持ちや協力・協調性の育成を図る。
- 「ふれっチャ・クラブ」の活性化を図り、社会性と人間性育てるとともに、挨拶の大切さや礼儀正しさを学ばせ、コミュニケーション能力を培う。

## (2) 特色ある教育活動

- ア 地域人材・都立高等学校生徒を講師とした「ふれっチャ・クラブ」において、異年齢・異世代・異文化交流を行い、児童の社会性・人間性の育成に努める。
- イ 学力向上及び基礎・基本の定着を図るため、習熟タイムを、全校一斉に週当たり3日（1日あたり15分間）設定する。
- ウ 春の体力づくり（長縄月間）、秋の体力づくり（短縄月間）、冬の体力づくり（持久走月間）を設定し、全校児童で取り組み、体力の向上を図る。
- エ 学校からのお便りのデジタル化、二次元コードを活用したアンケートの実施、アプリを活用した出席連絡など、デジタルテクノロジーの活用を推進する。

## (3) 生活指導・進路指導

### ア 生活指導

- 学校のきまりを守り、基本的な生活習慣の確立を図り、八小の児童としての自覚をもたせ、公共の意識や規範意識を育てる。

### イ 進路指導

- 以下の活動を課外活動に位置付け、「体力の向上」「人間力の醸成」を図る。  
〔吹奏楽・バトン〕
- 地域に住まう大人や中学生、高校生等、年齢の離れた人と接する活動を設け、生き方について考える機会とする。
- 日頃の学習活動や学校生活を支える人々の人柄や生き方を基に、自身の志として自己の夢や希望をもち、社会人として生きていく資質・能力を育成する。

第3表(小)

学校名 武蔵村山市立第八小学校

3 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	17	20	22	13	0	21	20	20	17	17	19	15	201
2	17	20	22	13	0	21	20	20	17	17	19	15	201
3	17	20	22	13	0	21	20	20	17	17	19	15	201
4	17	20	22	13	0	21	20	20	17	17	19	15	201
5	17	20	22	13	0	21	20	20	17	17	19	16	202
6	17	20	22	13	0	21	20	20	17	17	19	15	201
備考													

(2) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動の年間授業時数配当

各教科等	学年	1	2	3	4	5	6
各教科	国語	306 ( 5.5 )	315 ( 2.0 )	245 ( 1.0 )	245 ( 2.0 )	175 ( 3.0 )	175 ( 2.0 )
	社会			70 ( 1.0 )	90 ( 1.0 )	100 ( 1.0 )	105 ( 0.0 )
	算数	136 ( 9.0 )	175 ( 5.5 )	175 ( 3.5 )	175 ( 4.0 )	175 ( 5.5 )	175 ( 4.0 )
	理科			90 ( 1.0 )	105 ( 1.0 )	105 ( 1.0 )	105 ( 0.0 )
	生活	102 ( 5.0 )	105 ( 2.0 )				
	音楽	68 ( 2.0 )	70 ( 1.0 )	60 ( 1.0 )	60 ( 1.0 )	50 ( 0.0 )	50 ( 0.0 )
	図画工作	68 ( 2.0 )	70 ( 1.0 )	60 ( 1.0 )	60 ( 1.0 )	50 ( 0.0 )	50 ( 0.0 )
	家庭					60 ( 0.0 )	55 ( 0.0 )
	体育	102 ( 2.0 )	105 ( 0.0 )	105 ( 0.0 )	105 ( 0.0 )	90 ( 0.0 )	90 ( 0.0 )
	外国語					70 ( 0.0 )	70 ( 0.0 )
小計	782 ( 25.5 )	840 ( 11.5 )	805 ( 8.5 )	840 ( 10.0 )	875 ( 10.5 )	875 ( 6.0 )	
特別の教科 道徳	40 ( 0.0 )	40 ( 0.0 )	40 ( 0.0 )	40 ( 0.0 )	40 ( 0.0 )	40 ( 0.0 )	
外国語活動			35 ( 0.0 )	35 ( 0.0 )			
総合的な学習の時間			70 ( 0.0 )	70 ( 0.0 )	70 ( 0.0 )	70 ( 0.0 )	
特別活動 (学級活動)	34 ( 6.0 )	35 ( 5.0 )	35 ( 4.0 )	35 ( 4.0 )	35 ( 4.0 )	35 ( 4.0 )	
総計	856 ( 31.5 )	915 ( 16.5 )	985 ( 12.5 )	1020 ( 14.0 )	1020 ( 14.5 )	1020 ( 10.0 )	
授業時数外で実施する外国語活動	15	15					
委員会活動					11	11	
クラブ活動				14	14	14	
備考							